

「流域計画・流域管理課題分野」(平成27年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
総合確率法を基礎とした水災害リスクカーブ作成手法の開発（研究期間：H27年～H28年）	京都大学 市川 温	A
<研究概要> <p>近年、日本各地で水災害が多発している。これに対し、水工施設の整備や立地の適正化などの流域管理的対策、さらには保険などの事後対策を組み合わせること で、水災害リスクを適切に低減・配分する必要がある。水災害リスクの適切なマネ ジメントに資するため、本研究では、総合確率法を基礎とした水災害リスクカーブ 作成手法を開発する。水災害リスクカーブとは浸水による経済的被害額とその年超 過確率の関係を表す曲線のことである。本手法により、現実在即した水災害リス クの評価が可能となる。</p>		
<事後評価コメント> <p>論理的かつ明確な解析で研究が展開され、水災害リスクカーブ作成手法の開発、 実河川流域を対象としたリスク評価が行われていることから、研究目的は達成さ れ、十分な研究成果があった。 今後は、都市分野と連携し、具体的な都市計画づくりに成果を展開できるよう研 究を進展させることが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い